I·O DATA

124710-02

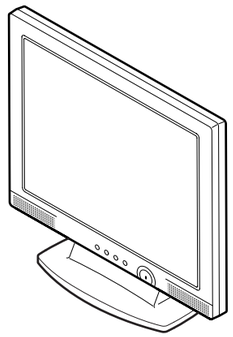
17 インチ TFT 液晶ディスプレイ

取 扱 説 明 書

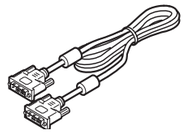
LCD-AD171CS

箱の中には

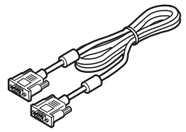
箱の中には以下のものが入っています。
☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。



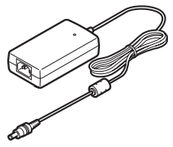
☐ 液晶ディスプレイ（LCD-AD171CS）



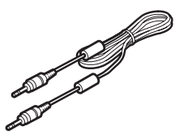
☐ デジタル接続ケーブル（約 2.0 m）



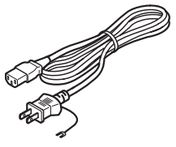
☐ RGB 接続ケーブル（約 1.5 m）



☐ AC アダプタ（約 1.5 m）



☐ ステレオケーブル（1.8 m）



☐ 電源ケーブル（約 1.8 m）

☐ LCD シリーズ A サポートソフト（CD-ROM）

☑ LCD-AD171CS 取扱説明書（本書）

☐ 「必ずお読みください」

☐ 『ピックアップリペアサービス』のご案内

☐ ハードウェア保証書

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

※液晶ディスプレイは、表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.99 %以上の有効画素と 0.01%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。

※ シリアル番号は本製品の裏面に貼られている12桁（ 例：ABC0987654ZX ）のものです。

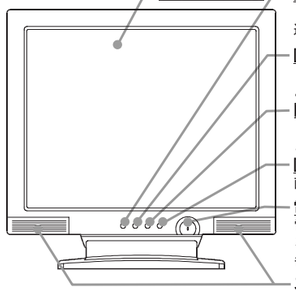
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒http://www.iodata.jp/regist/

弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
⇒http://www.iodata.jp/lib/

注意 箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

各部の名称と機能

正面



ディスプレイ部

[MENU] ボタン
「調整/設定メニュー」の表示、調整/設定項目の選択、「調整/設定メニュー」の終了時に使います。

[－] ボタン
「調整/設定メニュー」の選択決定や、調整値およびスピーカ音量を減らすときに使います。

[＋] ボタン
「調整/設定メニュー」の選択決定や、調整値およびスピーカ音量を増やすときに使います。

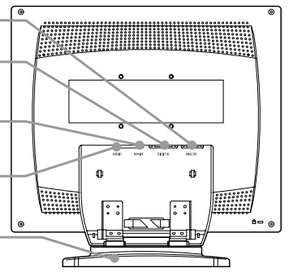
[AUTO] ボタン
画像調整を自動で行いたい時に使います。

電源ボタン
電源のオン/オフを行います。電源がオンになると LED ランプが緑色に点灯します。
省電力モード時は橙色になります。

スピーカ
音声を出力します。

背面

※ 図は背面のカバーを外したものです。（【背面のカバーを外す】参照）



ANALOG コネクタ
RGB 接続ケーブルを接続します。

DIGITAL コネクタ
デジタル接続ケーブルを接続します。

DC IN コネクタ
ACアダプタを接続します。

AUDIO コネクタ
ステレオケーブルを接続します。

台座

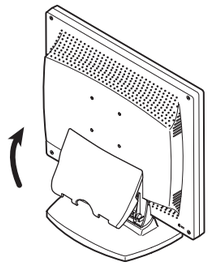
取り付けよう

パソコンに取り付ける

注意 作業の際は、下に柔らかい布などを敷いてください。

1 本製品背面のカバーを外します。

● 背面カバーを外す
カバー下部に親指をかけて、上へ引き上げるようにして外します。



2 電源ケーブルと AC アダプタを接続します。
必ず添付のものをご使用ください。

3 本製品に AC アダプタのコネクタを接続します。

4 本製品背面に用途にあった接続ケーブルを接続します。
各接続ケーブルは必ず添付のものを使用し、接続ケーブルのコネクタは左右のネジできちんと締めてください。

アナログ接続の場合 RGB 接続ケーブルを本製品の ANALOG コネクタに接続します。

デジタル接続の場合 デジタル接続ケーブルを本製品の DIGITAL コネクタに接続します。

注意 Power Macintosh※1 で RGB 接続ケーブルをお使いになる場合は、別途市販の Macintosh 専用変換コネクタ※2（D-sub 15 ピン（メス）⇔専用 D-sub15 ピン（オス））が必要です。
※ 1 Power Macintosh G3/G4 は除きます。
※ 2 セパレートシンクで使用してください。

参考 アナログ接続とデジタル接続の両方を行うこともできます。例えば、パソコンが２台あり、一方がデジタル出力、もう一方がアナログ出力なら、両方を接続し、調整 / 設定メニュー（オンラインマニュアル参照）で切り替えて表示することができます。

5 接続ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
パソコンの出力コネクタ位置は、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

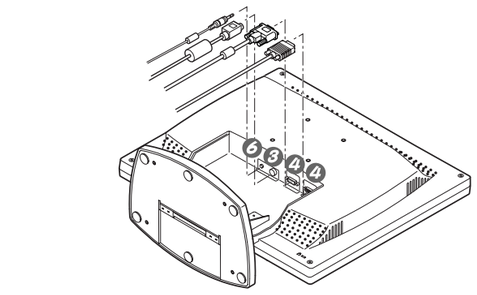
アナログ接続の場合 パソコンの RGB 出力コネクタに接続します。

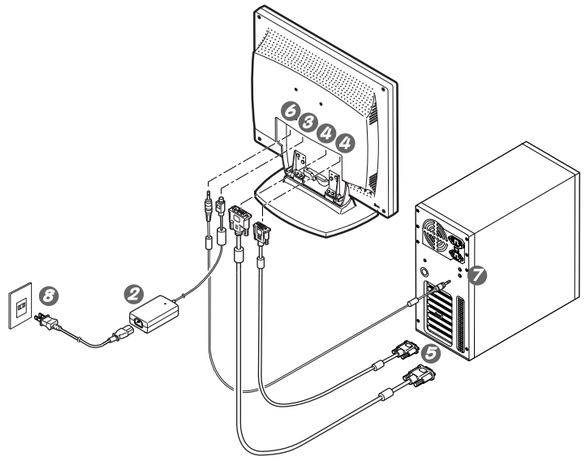
デジタル接続の場合 パソコンのデジタルディスプレイ出力コネクタに接続します。

6 本製品の AUDIO コネクタに、ステレオケーブルを接続します。
本製品のスピーカをご使用にならない場合は、接続する必要はありません。

7 ステレオケーブルのもう一方の端子をパソコンのオーディオ出力端子に接続します。

8 電源ケーブルをコンセントに接続します。
AC アダプタの LED ランプが緑色に点灯します。





アームを取り付ける

台座を取り外して、VESA 規格に準拠したアームなどの固定器具を取り付けることができます。アームや、アーム取り付け用のネジは、あらかじめご用意ください。

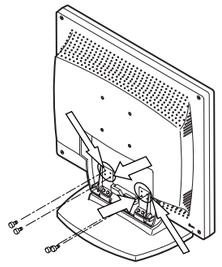
注意
・作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。
・やわらかい布などを敷いて、液晶ディスプレイに傷がつかないようにしてください。
・電源を切り、すべてのケーブルを外した状態で作業を行ってください。
・ご用意いただいた固定器具の取扱説明書もご覧ください。

1 本製品背面の背面カバーと台座カバーを外します。
【パソコンに取り付ける】の手順①参照

注意
・ディスプレイ部は角度（チルト角）の調節が可能です。
・背面カバーの取り付け、取り外し時は倒さない（チルトさせない）でください。

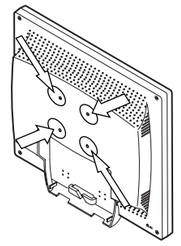
2 台座を外す。
右図の矢印部分（４個所）のネジを外すとスタンドを取り外すことが出来ます。

・固定用のネジは 4 mm × 10 mm × 0.7 mm ピッチのタッピングビスを使用してください。
・本製品のスタンドを除いた質量は約 4.4 Kg です。固定金具は 4.4 Kg に耐えられるような 75 mm ピッチのものをご用意ください。



注意 外したカバーやネジ、金具、スタンドは、大切に保管してください。

3 固定器具取り付け位置
右図の矢印部分（４個所）は、アーム取り付け用のネジ穴です。



以上で作業は完了です。

サポートソフトのインストール

インストールはオートランメニューから行います。
オートランメニューは「LCD シリーズ A サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットすると表示されます。

注意
・自動的にオートランメニューが表示されない場合は「LCD シリーズ A サポートソフト」の中にある［ AUTORUN ］アイコンをダブルクリックしてください。
・本製品は、サポートソフトをインストールしなくてもご使用いただけます。
・サポートソフトをインストールすると、モニタに適した解像度、および周波数の設定が可能になるため、インストールをおすすめします。
・Windows XP/2000, Windows Me/98, Windows 95 以外の OS（Windows NT 4.0 など）ではサポートソフトをインストールする必要はありません。取り付け後はそのままお使いください。
・LCD シリーズ A サポートソフト Ver1.00 をインストールしている場合は事前にアンインストールしておいてください。

▼オートランメニュー

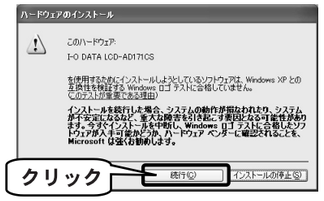
インストールを開始します。
オンラインマニュアルを表示します。
自動調整に適した画面が表示されるのでAutoボタンを押して画面調整を行なってください。
弊社ホームページのユーザー登録へ接続します。
弊社おすすめ製品をわかりやすく説明したページへ接続します。
最新情報を紹介したページへ接続します。

※一部のメニューでは、インターネット接続環境が必要です。

Windows XP/2000 の場合

Windows XP/2000 の場合は、以下の手順を行ってください。
※掲載している画面は、Windows XP のものですが、操作は Windows 2000 も同じです。

1. **Windows を起動し、「LCD シリーズ A サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。**
   自動的にオートランメニューが起動します。
2. **[インストールをする] をクリックします。**
3. **[次へ] ボタンをクリックします。**
4. **インストール先の選択画面で [次へ] ボタンをクリックします。**
   インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックして変更してください。
5. **[コンポーネントの選択] で [LCD-AD171CS] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**
6. **[プログラムフォルダ] の選択で [次へ] ボタンをクリックします。**
7. **[次へ] ボタンをクリックします。**
   ファイルのコピーがはじまります。
8. **[OK] ボタンをクリックします。**
9. **[続行] ボタンをクリックします。**



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

10. **[はい] もしくは [いいえ] ボタンのいずれかをクリックします。**
    [はい] ボタンをクリックすると、I-O DATA のホームページへのリンクを「お気に入り」に追加します。(Internet Explorer をご使用の場合のみ)
11. **以下の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。**

以上でインストールは完了です。

Windows Me/98 の場合

Windows Me/98 の場合は、以下の手順を行ってください。
※掲載している画面は、Windows Me のものですが、操作は Windows 98 も同じです。

1. **Windows を起動します。**
   しばらくすると [新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。
2. **[キャンセル] ボタンをクリックします。**
3. **「LCD シリーズ A サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。**
   自動的にオートランメニューが起動します。
4. **[インストールをする] をクリックします。**
5. **[次へ] ボタンをクリックします。**
6. **インストール先の選択画面で [次へ] ボタンをクリックします。**
   インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックして変更してください。
7. **[コンポーネントの選択] で [LCD-AD171CS] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**
8. **[プログラムフォルダ] の選択で [次へ] ボタンをクリックします。**
   プログラムフォルダ名を変更したい場合は［参照］ボタンをクリックして変更してください。
9. **[次へ] ボタンをクリックします。**
10. **[はい] もしくは [いいえ] ボタンのいずれかをクリックします。**
    [はい] ボタンをクリックすると、I-O DATA のホームページへのリンクを「お気に入り」に追加します。(Internet Explorer をご使用の場合のみ)
11. **[完了] ボタンをクリックします。**
    Windows が再起動します。

以上でインストールは完了です。

Windows 95 の場合

Windows 95 の場合は、以下の手順を行ってください。

1. **Windows を起動します。**
   しばらくすると [新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。
2. **[キャンセル] ボタンをクリックします。**
3. **「LCD シリーズ A サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。**
   自動的にオートランメニューが起動します。
4. **[インストールをする] をクリックします。**
5. **[次へ] ボタンをクリックします。**
6. **インストール先の選択画面で [次へ] ボタンをクリックします。**
   インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックして変更してください。
7. **[コンポーネントの選択] で [LCD-AD171CS] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**
8. **[プログラムフォルダ] の選択で [次へ] ボタンをクリックします。**
   プログラムフォルダ名を変更したい場合は［参照］ボタンをクリックして変更してください。
9. **[次へ] ボタンをクリックします。**
10. **[はい] もしくは [いいえ] ボタンのいずれかをクリックします。**
    [はい] ボタンをクリックすると、I-O DATA のホームページへのリンクを「お気に入り」に追加します。(Internet Explorer をご使用の場合のみ)
11. **[完了] ボタンをクリックします。**
    Windows が再起動します。

12. **[マイコンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックします。**
13. **[デバイスマネージャ] タブをクリックして [種類別に表示] をチェックします。**
14. **[モニター] をダブルクリックします。**
15. **[モニター] の下の表示をダブルクリックします。**
16. **[ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。**
17. **[一覧からドライバを選ぶ] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**
18. **[すべてのハードウェアを表示] をチェックします。**
19. **[製造元] で [I-O DATA DEVICE,INC.] をクリックし、[モデル] で [I-O DATA LCD-AD171CS …] をクリックします。**
20. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上でインストールは完了です

アンインストール

どの OS でも以下の手順でアンインストールできます。

1. **「LCD シリーズ A サポートソフト」を CD-ROM ドライブにセットします。**
   自動的にオートランメニューが起動します。
2. **[インストールをする] をクリックします。**
3. **[変更] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。**
4. **LCD-AD171CS のチェックを全て外し、[次へ] ボタンをクリックします。**
5. **[完了] ボタンをクリックします。**

以上でアンインストールは完了です

オンラインマニュアルを活用

オンラインマニュアルの内容

LCD シリーズ A サポートソフト内には、オンラインマニュアルが収録されています。オンラインマニュアルの内容は以下のとおりです。

表示の調整 / 設定
表示に関する問題を解決するための、「調整 / 設定メニュー」について、操作手順や機能などを説明しています。

製品特徴
本製品の特徴を紹介します。

インストール後の確認
【インストール】の作業終了後、作業が正しく行われたかどうかの確認方法を説明しています。

用語解説
液晶ディスプレイに関連する用語について解説します。

省電力設定について
省電力モードについて説明します。

ハードウェア仕様
本製品のハードウェア仕様です。

デジタ Life
弊社おすすめ製品をわかりやすく説明したホームページへ接続します。

最新ニュース
最新情報を紹介したページへ接続します。

オンラインマニュアルを見るには

以下の3つの方法でご覧いただけます。
- LCD シリーズ A サポートソフト内の「 top.htm 」をダブルクリック。
- オートランメニューの［オンラインマニュアルを見る］ボタンをクリック。(Windows ご利用の場合のみ)
- インストール後、デスクトップ上にできる「LCD-AD171CS オンラインマニュアル」アイコンをダブルクリック。(Windows ご利用の場合のみ)

TCO´99 について

※ 筐体色が白のもののみ「TCO'99」に適合しています。
このたび TCO'99 認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私どもも TCO'99 にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータおよび周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょう？

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された方法となっています。コンピュータとそのほかの電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足のいく方法でリサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまいます。
この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境（内的）と自然界（外的）という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響（例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など）をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです、オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょう？

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供する TCO'99 の要求事項を満たしています。このラベリング計画は TCO（スウェーデン労働者組合）、Svenska Naturskyddsforeningen（スウェーデン環境保護団体）、Statens Energimyndighet（スウェーデンエネルギー局）による共同プロジェクトです。
TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界輻射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。
TCO'99 は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃剤、CFC（フロン）、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。
またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス（身体面および視覚面）、有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。この製品が満たしている環境要求事項の概略を以下【環境保護要求】に示してあります。環境基準文書前文は下記宛てに要求することができます。

▶TCO Development Unit
S-114 94 Stockholm,Sweden
Fax：+46 8 782 92 07,Email：(Internet)：Development@tco.Se

TCO'99 の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。
▶http://www.tco-info.com/

環境保護要求

難燃剤
難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの 30%までが、難燃物質によってできている場合もあります。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCB とも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤と PCB は、生体蓄積※1の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。
▶TCO'99 は 25g 以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないため、是認されています。

カドミウム※2
カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。
▶TCO'99 は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀※2
水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。
TCO'99 は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求しています。

CFC（フロン）
▶TCO'99 は CFC ならびに HCFC を製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC（フロン）はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFC はオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん（悪性黒色腫）になる危険性などが高まります。

鉛※2
鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、ハンダやコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると鉛中毒を引き起こします。
▶ 鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99 は鉛の含有を認めています。

※1 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。
※2 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2003. Feb. 20
©2002-2003 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.